

2025 年 5 月 29 日
住友生命保険相互会社

住友生命保険相互会社とカラダノートが資本業務提携 ～少子化のラストチャンスに、子育て支援を通じて社会のウェルビーイングを共創～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）と、株式会社カラダノート（代表取締役 佐藤 竜也、以下「カラダノート」）は、社会全体のウェルビーイング向上のため、2025 年 5 月 29 日に資本業務提携契約（以下、「本提携」）を締結しました。

今後、住友生命では、カラダノートのアプリを通じてウェルビーイングサービスを提供するなど、両社のサービス連携による相互送客や、商品サービスの共同開発等を進めていきます。



住友生命 取締役 代表執行役副社長 角 英幸（左）とカラダノート 代表取締役 佐藤 竜也（右）

1. 社会的背景

日本では、急速な少子化と人口減少により、2030 年代には若年人口が倍速で急減するという危機的状況が予測されています。政府は「2030 年までの残り 5 年」を“少子化反転のラストチャンス”と捉え、令和 5 年に閣議決定された「こども未来戦略」に基づき、「気運醸成実行計画」の策定を進めています。この実行計画では、共働き・子育てを前提とした社会へと転換するため、企業・地域・個人が一体となって育児を支える文化と仕組みづくりが求められています。

特に企業には、育児支援を“コスト”ではなく“未来への投資”と捉え、男性も女性も等しく育児に関われる柔軟な働き方の整備が強く期待されています。社会構造や職場慣行、意識を変革していくこの挑戦には、企業による実効性あるアクションと、生活者とのリアルな接点を持つプレイヤーの共創が不可欠です。

こうした社会的背景のもと、住友生命とカラダノートは、次世代の子育てを支え、社会全体のウェルビーイングを高めていく取り組みを推進していきます。

2. 本提携について

a. 両社の経営方針

住友生命は、住友生命グループ Vision2030 を定め、2030 年に見据える姿として「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を掲げ、健康増進型保険“住友生命 Vitality”や、WaaS (Well-being as a Service) ※¹を通じて、保険の枠を超えた価値提供に取り組んでいます。

2025 年度からは、より一層ウェルビーイング実感が高まる顧客体験価値をお客さまに提供すべく、ウェルビーイング・トランスフォーメーション (WX) に取り組んでいます。

WX では、健康増進、重症化予防、資産形成、プレコンセプションケア※²など幅広いサービスを開発し、提供するお客さまを拡げる「量」と、顧客体験価値を高める「質」の双方に取り組んでいます。

※¹ Vitality 健康プログラムを中心とするウェルビーイングに資するサービスエコシステムのことです。

※² プレコンセプションケアとは、若い男女が将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うこと。次世代を担う子どもの健康にもつながるとして近年注目されているヘルスケアです。

カラダノートは、妊娠・出産・育児期の家族に寄り添うスマートフォンアプリを複数展開し、出生数の約 9 割※³にご利用いただくとともに、約 290 万世帯※⁴と日々接点を持つ、グロース上場のベンチャー企業です。

カラダノートのアプリは、夫婦が協力して子育てに関われる環境づくり＝「共育て」を支援する設計思想を持っており、家庭の中だけでなく、社会全体で子育てを支える基盤となることを目指しています。また、少子高齢化や社会保障制度の限界に対応するため、自治体・企業との連携によって、金融・住宅・保険など生活インフラ領域へと支援を拡張し、民間主導による新しい共助の仕組みづくりを推進しています。

※³ 2024 年に妊娠期から 1 歳未満の子育て世帯を対象にダウンロードされた妊娠・育児支援アプリのダウンロード件数を、同年の出生数 (74.9 万人) と比較したものです。アプリ間の重複ダウンロードは考慮していません。

※⁴ 2025 年 3 月時点。

b. 資本提携の内容

カラダノートは、第三者割当の方法により、住友生命に対してカラダノートの普通株式 400,000 株を割り当てます。合わせて、カラダノート代表取締役 佐藤 竜也から 250,000 株の譲渡も行います。これにより、住友生命のカラダノートに対する出資比率は 9.72%になります。

c. 業務提携の内容

住友生命とカラダノートは、両社の持つ経営資源・サービスを活用し、顧客体験の革新につながる商品・サービスの開発等を検討していきますが、2025 年度については具体的に、主に子育て世代等のお客さま層拡大に向けて以下の連携施策を実施する予定です。

- (1) カラダノートが展開する子育て支援アプリのユーザーに対し、住友生命グループのサービスに係る情報提供を実施し、ウェルビーイング価値提供の裾野拡大を図ります。
- (2) また、ユーザーのニーズに応じて、Vitality 健康プログラムや資産形成商品といった住友生命のサービスを提供します。
- (3) 住友生命のお客さまニーズに応じて、カラダノートのアプリ等のサービスを提供します。

3. 各社の概要

a. 住友生命の概要

名 称：住友生命保険相互会社
代 表 者：取締役 代表執行役社長 高田 幸徳
所 在 地：大阪府大阪市中央区城見 1－4－35
ホームページ：<https://www.sumitomolife.co.jp/>

b. カラダノートの概要

名 称：株式会社カラダノート
代 表 者：代表取締役 佐藤 竜也
所 在 地：東京都港区芝浦 3－8－10 MA 芝浦ビル 6 階
ホームページ：<https://corp.karadanote.jp/>

以上